



## サービスの概要

---

Cisco Unified Serviceability のサービス管理では、Tomcat Java Webserver に関連付けられている機能サービス、ネットワーク サービス、および servlet を操作します。機能サービスは、Serviceability Reports Archive などのアプリケーション機能を使用可能にするもので、ネットワーク サービスは、システムが機能するために必要なものです。

サービスまたは servlet に異常が発生した場合は、アラーム モニタにアラームが書き込まれます。アラーム情報を確認してから、サービスのトレースを実行できます。[Trace Configuration] ウィンドウでは、サービスと servlet は別々のトレース レベルに表示されます。

この章では、サービスと servlet、Service Activation、および Control Center について説明します。次の項で構成されています。

- [機能サービス \(P.9-2\)](#)
- [ネットワーク サービス \(P.9-8\)](#)
- [Service Activation \(P.9-14\)](#)
- [Control Center \(P.9-14\)](#)
- [サービスの設定チェックリスト \(P.9-15\)](#)
- [参考情報 \(P.9-15\)](#)

## 機能サービス

Cisco Unified Serviceability では、機能サービスのアクティブ化、開始、および停止が可能です。アクティブ化は、サービスをオンにして開始します。[Service Activation] ウィンドウでサービスをアクティブにした後で、[Control Center - Feature Services] ウィンドウでサービスを開始する必要はありません。何らかの理由でサービスが開始しない場合は、[Control Center - Features Services] ウィンドウでサービスを開始する必要があります。

Cisco Unified Communications Manager のインストール後に、機能サービスが自動的にアクティブになることはありません。機能サービスとは、Cisco Unified Communications Manager Assistant や Serviceability Reports Archive などの Cisco Unified Communications Manager 機能を使用する場合に必要な関連サービスです。機能サービスをアクティブにした後で、関連付けられたサービスパラメータを変更するには、Cisco Unified Communications Manager の管理ページを使用します。

Cisco Unified Communications Manager をアップグレードする場合、アップグレード前にすでにアクティブになっているサービスは、アップグレード後に自動的にアクティブになり、開始します。

Cisco Unified Serviceability の [Service Activation] ウィンドウでは、機能サービスは次のグループに分類されています。

- [Database and Admin Services \(P.9-2\)](#)
- [Performance and Monitoring Services \(P.9-3\)](#)
- [CM Services \(P.9-3\)](#)
- [CTI Services \(P.9-5\)](#)
- [CDR Services \(P.9-6\)](#)
- [Security Services \(P.9-7\)](#)
- [Directory Services \(P.9-7\)](#)
- [Voice Quality Reporter Services \(P.9-8\)](#)

Cisco Unified Serviceability の [Control Center - Feature Services] ウィンドウでは、サービスは、[Service Activation] ウィンドウ内のグループと同じグループに分類されています。



### ヒント

サービス アクティベーションに関する推奨事項については、[P.9-14](#) の「[Service Activation](#)」および [P.11-1](#) の「[機能サービスのアクティブ化と非アクティブ化](#)」を参照してください。

## Database and Admin Services

この項では、Database and Admin Services について説明します。

### Cisco AXL Web Service

Cisco AXL Web Service では、データベース エントリを変更し、AXL を使用するクライアントベースのアプリケーションからストアド プロシージャを実行することができます。

### Cisco Bulk Provisioning Service

Cisco Bulk Provisioning Service は、ファースト ノードでのみアクティブにできます。Cisco Unified Communications Manager 一括管理ツール (BAT) を使用して電話機とユーザを管理する場合は、このサービスをアクティブにする必要があります。

### Cisco TAPS Service

Cisco TAPS Service は、Cisco Unified Communications Manager Auto-Register Phone Tool をサポートします。このツールを使用すると、ユーザは、Interactive Voice Response (IVR; 自動音声応答) プロンプトに応答して、自動登録された電話機にカスタマイズ済みの設定をアップロードすることができます。

このサービスは、ファースト ノードでアクティブにします。このツールのダミー MAC アドレスを作成する場合は、同じノードで Cisco Bulk Provisioning Service がアクティブになっていることを確認します。



#### ヒント

Cisco Unified Communications Manager Auto-Register Phone Tool は、Cisco Customer Response Solutions (CRS) を利用します。ツールを実行する前に、CRS のマニュアルに記載されているとおりに CRS サーバが設定されて動作していることを確認してください。

## Performance and Monitoring Services

この項では、Performance Monitoring Services について説明します。

### Cisco Serviceability Reporter

Cisco Serviceability Reporter サービスは、P.10-1 の「[Serviceability Reports Archive の概要](#)」に記載されている目次レポートを生成します。

このサービスは、クラスタ内のすべての Cisco Unified Communications Manager ノードにインストールされます。Reporter は、ログに記録された情報に基づいて、レポートを 1 日に 1 回生成します。Reporter によって生成されたレポートには、Cisco Unified Serviceability の [Tools] メニューからアクセスできます。各要約レポートには、その特定レポートの統計情報を表すさまざまなグラフが表示されます。サービスをアクティブにしてからレポートが生成されるまで、最大 24 時間かかる場合があります。

### Cisco CallManager SNMP Service

このサービスは CISCO-CCM-MIB を実装しており、Cisco Unified Communications Manager で利用可能なプロビジョニング情報と統計情報への SNMP アクセスを提供します。

このサービスは、クラスタ内のすべてのノードでアクティブにします。

## CM Services

この項では、CM Services について説明します。

### Cisco CallManager

Cisco CallManager サービスは、Cisco Unified Communications Manager に、ソフトウェア専用のコール処理機能、シグナリング機能、およびコール制御機能を提供します。



#### ヒント

このサービスをアクティブにする前に、Cisco Unified Communications Manager の管理ページの [Cisco Unified CM の検索と一覧表示 (Find and List Cisco Unified CMs)] ウィンドウに Cisco Unified Communications Manager ノードが表示されていることを確認してください。ノードが表示されていない場合は、このサービスをアクティブにする前に、Cisco Unified Communications Manager ノードを追加します。ノードの検索および追加方法については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』を参照してください。



## ヒント

Service Activation で Cisco CallManager サービスまたは CTIManager サービスを非アクティブにした場合、サービスが非アクティブになった Cisco Unified Communications Manager ノードはデータベースから削除されます。つまり、その Cisco Unified Communications Manager ノードは Graphical User Interface (GUI; グラフィカル ユーザ インターフェイス) に表示されなくなるため、Cisco Unified Communications Manager の管理ページの設定操作で選択できなくなります。その後、同じ Cisco Unified Communications Manager ノードでサービスを再度アクティブにすると、データベースで Cisco Unified Communications Manager のエントリが再度作成され、サーバ名または IP アドレスに「CM\_」というプレフィックスが追加されます。たとえば、IP アドレスが 172.19.140.180 のノードで Cisco CallManager サービスまたは CTIManager サービスを再度アクティブにすると、Cisco Unified Communications Manager の管理ページに CM\_172.19.140.180 と表示されます。これで、Cisco Unified Communications Manager の管理ページでそのノード (新しい「CM\_」プレフィックスが付いたもの) を選択できるようになります。

次のサービスを使用するには、Cisco CallManager サービスをアクティブにする必要があります。

- [Cisco CTIManager \(P.9-5\)](#)
- [CDR Services \(P.9-6\)](#)

### Cisco TFTP

Cisco Trivial File Transfer Protocol (TFTP) は、FTP の簡易版である TFTP に準拠したファイルを作成および提供します。Cisco TFTP は、組み込みコンポーネント実行可能ファイル、呼出音ファイル、およびデバイス設定ファイルを提供します。

設定ファイルには、デバイス (電話機およびゲートウェイ) の接続先となる Cisco Unified Communications Manager のリストが含まれています。デバイスがブートすると、コンポーネントがそのネットワーク構成情報について Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) サーバをクエリーします。DHCP サーバは応答して、デバイスの IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、Domain Name System (DNS; ドメインネームシステム) サーバアドレス、および TFTP サーバの名前またはアドレスを返します。デバイスは、TFTP サーバに設定ファイルを要求します。設定ファイルには、Cisco Unified Communications Manager のリストと、デバイスがそれらの Cisco Unified Communications Manager に接続するとき使用する TCP ポートが含まれています。

### Cisco Messaging Interface

Cisco Messaging Interface を使用すると、Simplified Message Desk Interface (SMDI) 準拠の外部ボイスメッセージシステムを Cisco Unified Communications Manager と接続できます。SMDI は、着信コールのインテリジェントな処理に必要な情報を電話システムがボイスメッセージシステムに提供する方法を定義します。

### Cisco Unified Mobile Voice Access Service

Cisco Unified Voice Access Service は、Cisco Unified Mobility 内のモバイルボイスアクセス機能を開始します。モバイルボイスアクセスは Integrated Voice Response (IVR) システムで、このサービスを使用すると、Cisco Unified Mobility ユーザは次の作業を実行できます。

- デスクの電話機からコールを発信する場合と同じように、携帯電話からコールを発信する
- Cisco Unified Mobility をオンにする
- Cisco Unified Mobility をオフにする

### Cisco IP Voice Media Streaming App

Cisco IP Voice Media Streaming Application サービスは、Cisco Unified Communications Manager に、MTP、会議、Music On Hold (MOH; 保留音)、およびアナウンサーを使用するための音声メディアストリーミング機能を提供します。Cisco IP Voice Media Streaming Application は、Cisco Unified Communications Manager からのメッセージを IP 音声メディアストリーミングドライバにリレーします。その後、このドライバが RTP ストリーミングを処理します。

### Cisco CTI Manager

Cisco CTI Manager には、アプリケーションとのインターフェイスとなる CTI コンポーネントが含まれています。このサービスを使用すると、アプリケーションが、電話機および仮想デバイスをモニタおよび制御して、コール制御機能を実行できるようになります。

CTI Manager を使用すると、アプリケーションが、クラスタにあるすべての Cisco Unified Communications Manager のリソースおよび機能にアクセスできるため、フェールオーバー機能が強化されます。1つのクラスタで複数の CTI Manager をアクティブにできますが、個々のノードに存在できる CTI Manager は1つのみです。アプリケーション (JTAPI/TAPI) は、複数の CTI Manager に同時に接続できます。ただし、メディアターミネーションを含むデバイスを開くときに使用できる接続は、一度に1つのみです。

### Cisco Extension Mobility

このサービスは、Cisco Extension Mobility 機能をサポートし、この機能のログインおよび自動ログアウト機能を実行します。

### Cisco Dialed Number Analyzer

Cisco Dialed Number Analyzer サービスは、Cisco Unified Communications Manager Dialed Number Analyzer をサポートします。このアプリケーションをアクティブにすると、大量のリソースが消費されます。そのため、このサービスをアクティブにするのは、コール処理の中断が最少となるオフピーク時に限定してください。

このサービスをクラスタ内のすべてのノードでアクティブにすることはお勧めできません。このサービスは、コール処理アクティビティが最少となるクラスタ内のノードの1つだけでアクティブにすることをお勧めします。

### Cisco DHCP Monitor Service

Cisco DHCP Monitor Service は、データベーステーブルにおける IP Phone の IP アドレス変更をモニタします。変更が検出されると、このサービスは /etc/dhcpd.conf ファイルを変更し、DHCPD デモンを再起動します。

## CTI Services

この項では、CTI Services について説明します。

### Cisco CallManager Attendant Console Server

Cisco CallManager Attendant Console Server サービスは、Cisco Unified Communications Manager Attendant Console クライアントとパイロットポイントに、中央集中型のサービスを提供します。Attendant Console クライアントの場合、このサービスは、コール制御機能、Cisco Unified Communications Manager ドメイン内のアクセス可能な回線の回線状態情報、およびディレクトリ情報のキャッシングを提供します。パイロットポイントの場合、このサービスは、ハントグループにリストされている電話番号への自動リダイレクションと、Cisco Unified Communications Manager に障害が発生した場合のフェールオーバーを提供します。

### Cisco IP Manager Assistant

このサービスは、Cisco Unified Communications Manager Assistant をサポートします。サービスをアクティブにすると、Cisco Unified Communications Manager Assistant を使用するマネージャとそのアシスタントは、より効率的に協力して作業できます。Cisco Unified Communications Manager Assistant は、プロキシ回線サポートと共有回線サポートの2つの動作モードをサポートします。

この機能は、コール ルーティング サービス、マネージャ用の電話機能の拡張、および主にアシスタントが使用するデスクトップ インターフェイスから構成されています。

サービスは、マネージャへのコールを代行受信し、事前に設定されたコール フィルタに基づいて、選択されたアシスタント、マネージャ、またはその他のターゲットにルーティングします。マネージャはコール ルーティングを動的に変更できます。たとえば、電話機のソフトキーを押すことで、すべてのコールをアシスタントにルーティングするように指示したり、それらのコールのステータスを受信したりできます。

Cisco Unified Communications Manager ユーザには、マネージャとアシスタントがいます。ルーティング サービスは、マネージャ コールを代行受信し、適切にルーティングします。アシスタント ユーザは、マネージャの代わりにコールを処理します。

### Cisco WebDialer Web Service

Cisco WebDialer は、クリックツーダイヤル機能を提供します。この機能を使用すると、Cisco Unified Communications Manager クラスタ内のユーザは、Web ページまたはデスクトップ アプリケーションから、クラスタの内部または外部にいる他のユーザに対してコールを開始できます。Cisco WebDialer は、クラスタ内の各ユーザが相互にコールできる Web ページを提供します。Cisco WebDialer は、Web Dialer servlet と Redirector servlet の2つのコンポーネントから構成されています。

Redirector servlet は、サードパーティ アプリケーションに、Cisco WebDialer を使用するための機能を提供します。Redirector servlet は、Cisco WebDialer ユーザに該当する Cisco Unified Communications Manager クラスタを検索し、そのクラスタ内の Cisco WebDialer に要求をリダイレクトします。Redirector 機能は、Simple Object Access Protocol (SOAP) ベースの Web Dialer アプリケーションでは使用できないため、HTTP/HTML ベースの Web Dialer クライアント アプリケーションのみに適用されます。

## CDR Services

この項では、CDR Services について説明します。

### Cisco SOAP - CDRonDemand Service

SOAP/HTTPS ベースのサービスを提供する Cisco SOAP - CDRonDemand Service は、CDR Repository ノードで動作します。結果として、このノードはファースト ノードとなります。このサービスは、ユーザ指定の時間間隔（最大 1 時間）に基づいて、CDR ファイル名のリストの SOAP 要求を受信し、要求で指定された期間に適合するファイル名のリストを返します。また、ファイル名と転送方式 (sftp/ftp、サーバ名、ログイン情報、ディレクトリ) が指定された、特定の CDR/CMR ファイルの配信要求も受信します。

HTTPS/SOAP インターフェイスを介して CDR データにアクセスするサードパーティ課金アプリケーションを使用する場合は、このサービスをアクティブにします。

### Cisco CAR Scheduler

Cisco CAR Scheduler サービスを使用すると、レポート生成や CAR データベースへの CDR ファイルのロードなど、CAR 関連のタスクをスケジュールできます。

### Cisco CAR Web Service

Cisco CAR Web Service は CAR 用のユーザ インターフェイスをロードします。CAR とは、CDR データを使用して CSV または PDF レポートを生成する Web ベースのレポート作成アプリケーションです。

## Security Services

この項では、Security Services について説明します。

### Cisco CTL Provider

Cisco CTL Provider サービスは、ローカル システム アカウント特権で動作し、クライアント側プラグインの Cisco CTL Provider Utility と連携して、クラスタのセキュリティ モードをノンセキュアから混合モードに変更します。プラグインをインストールすると、Cisco CTL Provider サービスは CTL ファイル用に、クラスタ内のすべての Cisco Unified Communications Manager および Cisco TFTP サーバのリストを取得します。CTL ファイルには、クラスタ内のセキュリティ トークンおよびサーバのリストが格納されます。クラスタ全体のセキュリティ モードをノンセキュアからセキュアに変更するには、Cisco CTL Client をインストールして設定し、このサービスをアクティブにする必要があります。

このサービスをアクティブにすると、Cisco CTL Provider サービスは CTL ポートをデフォルトの 2444 に戻します。ポートを変更する場合は、『Cisco Unified Communications Manager セキュリティ ガイド』を参照してください。

### Cisco Certificate Authority Proxy Function (CAPF)

Cisco Certificate Authority Proxy Function (CAPF) サービスは、CAPF アプリケーションと連携し、設定に応じて次のタスクを実行できます。

- サポート対象の Cisco Unified IP Phone モデルに対してローカルで有効な証明書を発行する
- SCEP を使用して、サポート対象の Cisco Unified IP Phone モデルの代わりにサードパーティ認証局に証明書を要求する
- 電話機の既存の証明書をアップグレードする
- トラブルシューティングのために電話機の証明書を取得する
- ローカルで有効な証明書を電話機から削除する



(注) RTMT でリアルタイムの情報を表示する場合、Cisco Certificate Authority Proxy Function (CAPF) サービスは、ファースト ノードについてのみ表示します。

## Directory Services

この項では、Directory Services について説明します。

### Cisco DirSync

Cisco DirSync サービスを使用すると、Cisco Unified Communications Manager データベースにすべてのユーザ情報が確実に格納されます。Microsoft Active Directory や Netscape/iPlanet Directory などの統合社内ディレクトリを Cisco Unified Communications Manager とともに使用する場合、Cisco DirSync サービスは、ユーザデータを Cisco Unified Communications Manager データベースへ移行します。Cisco DirSync サービスでは、社内ディレクトリとのパスワードの同期は行われません。

## Voice Quality Reporter Services

この項では、Voice Quality Reporter Services について説明します。

### Cisco Extended Functions

Cisco Extended Functions サービスは、Quality Report Tool (QRT) を含む Cisco Unified Communications Manager 音声品質機能をサポートします。個々の機能の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』および『Cisco Unified IP Phone アドミニストレーション ガイド for Cisco Unified Communications Manager』を参照してください。

## ネットワーク サービス

ネットワーク サービスは自動的にインストールされるもので、このサービスには、データベース サービスやプラットフォーム サービスなど、Cisco Unified Communications Manager システムが機能するために必要なサービスが含まれています。これらのサービスは基本機能に必要なため、[Service Activation] ウィンドウでアクティブにすることはできません。トラブルシューティングなどの場合は、必要に応じて、[Control Center - Network Services] ウィンドウでネットワーク サービスを停止してから開始（または再開）できます。

Cisco Unified Communications Manager をインストールすると、ネットワーク サービスは、[Control Center - Network Services] ウィンドウで指定されたとおりに自動的に開始します。Cisco Unified Serviceability の [Control Center - Network Services] ウィンドウでは、サービスは次のグループに分類されています。

- [Performance and Monitoring Services \(P.9-8\)](#)
- [Backup and Restore Services \(P.9-9\)](#)
- [System Services \(P.9-10\)](#)
- [Platform Services \(P.9-10\)](#)
- [DB Services \(P.9-12\)](#)
- [SOAP Services \(P.9-12\)](#)
- [CM Services \(P.9-13\)](#)
- [CDR Services \(P.9-13\)](#)
- [Admin Services \(P.9-13\)](#)

## Performance and Monitoring Services

この項では、Performance and Monitoring Services について説明します。

### Cisco CallManager Serviceability RTMT

Cisco CallManager Serviceability RTMT servlet は、Cisco Unified Communications Manager Real-Time Monitoring Tool (RTMT) をサポートします。RTMT を使用すると、トレースの収集と表示、パフォーマンス モニタリング オブジェクトの表示、アラートの操作、およびデバイス、システム パフォーマンス、CTI アプリケーションなどのモニタリングを行うことができます。

### Cisco RTMT Reporter Servlet

Cisco RTMT Reporter servlet を使用すると、RTMT のレポートを公開できます。



### Cisco Log Partition Monitoring Tool

Cisco Log Partition Monitoring Tool サービスは、Log Partition Monitoring 機能をサポートします。この機能は、設定済みのしきい値とポーリング間隔を使用して、特定のノード（またはクラスタ内のすべてのノード）におけるログパーティションのディスク使用率をモニタします。

### Cisco Tomcat Stats Servlet

Cisco Tomcat Stats Servlet を使用すると、RTMT またはコマンドライン インターフェイスを使用して Tomcat perfmon カウンタをモニタできます。このサービスによって CPU 時間などのリソースが大量に消費される場合を除き、このサービスは停止しないでください。

### Cisco RIS Data Collector

Real-time Information Server (RIS) は、デバイスの登録状況、パフォーマンス カウンタの統計情報、および生成された重大なアラームなど、リアルタイムの情報を保持します。Cisco RIS Data Collector サービスは、Cisco Unified Communications Manager Real-Time Monitoring Tool (RTMT) や SOAP アプリケーションなどのアプリケーションにインターフェイスを提供し、クラスタ内のすべての RIS ノードに格納されている情報を取得します。

### Cisco AMC Service

この Alert Manager and Collector サービスは Cisco Unified Communications Manager Real-Time Monitoring Tool (RTMT) に対して使用されるもので、このサービスを使用すると、クラスタ内のノードに存在するリアルタイムの情報を RTMT で取得できます。

## Backup and Restore Services

この項では、Backup and Restore Services について説明します。

### Cisco DRF Master

Cisco DRF Master Agent サービスは、DRF Master Agent をサポートします。DRF Master Agent は、Disaster Recovery System のグラフィカル ユーザ インターフェイス (GUI) またはコマンドライン インターフェイス (CLI) と連携し、必要に応じて、バックアップのスケジューリング、復元の実行、依存関係の表示、ジョブ ステータスの確認、およびジョブの取り消しを行います。また、Cisco DRF Master Agent は、バックアップおよび復元プロセス用のストレージメディアを提供します。

### Cisco DRF Local

Cisco DRF Local サービスは、Cisco DRF Local Agent をサポートします。Cisco DRF Local Agent は DRF Master Agent の主要部分として動作します。コンポーネントは、Cisco DRF Local Agent に登録して、障害復旧フレームワークを使用します。Cisco DRF Local Agent は、Cisco DRF Master Agent から受信したコマンドを実行します。また、Cisco DRF Local Agent は、ステータス、ログ、およびコマンド結果を Cisco DRF Master Agent に送信します。

## System Services

この項では、System Services について説明します。

### Cisco CallManager Serviceability

Cisco CallManager Serviceability サービスは、問題のトラブルシューティングとサービスの管理を行うための Web アプリケーションおよびインターフェイスである Cisco Unified Serviceability をサポートします。このサービスは自動的にインストールされるもので、このサービスを使用すると、Cisco Unified Serviceability の GUI にアクセスできます。このサービスを停止すると、サーバをブラウザするとき Cisco Unified Serviceability の GUI にアクセスできなくなります。

### Cisco CDP

Cisco CDP は、音声アプリケーションを他のネットワーク管理アプリケーションにアドバタイズします。その結果、SNMP や CiscoWorks2000 などのネットワーク管理アプリケーションが、音声アプリケーションに対してネットワーク管理タスクを実行できるようになります。

### Cisco Trace Collection Servlet

Cisco Trace Collection Servlet は、Cisco Trace Collection Service と連携して、トレース収集をサポートします。このサービスを使用すると、ユーザは RTMT を使用してトレースを表示できます。このサービスをサーバで停止すると、そのサーバではトレースの収集と表示ができなくなります。

RTMT で SysLog Viewer と Trace and Log Central が機能するには、サーバで Cisco Trace Collection Servlet と Cisco Trace Collection Service が動作している必要があります。

### Cisco Trace Collection Service

Cisco Trace Collection Service は、Cisco Trace Collection Servlet と連携して、トレース収集をサポートします。このサービスを使用すると、ユーザは RTMT クライアントを使用してトレースを表示できます。このサービスをサーバで停止すると、そのサーバではトレースの収集と表示ができなくなります。

RTMT で SysLog Viewer と Trace and Log Central が機能するには、サーバで Cisco Trace Collection Servlet と Cisco Trace Collection Service が動作している必要があります。



#### ヒント

初期化にかかる時間を短縮する必要がある場合は、Cisco Trace Collection Servlet を再起動する前に、Cisco Trace Collection Service を再起動することをお勧めします。

## Platform Services

この項では、Platform Services について説明します。

### A Cisco DB

A Cisco DB サービスは、Progres データベース エンジンをサポートします。

### Cisco Tomcat

Cisco Tomcat サービスは Web サーバをサポートします。

### SNMP Master Agent

このサービスは、エージェントプロトコルエンジンとして動作し、SNMP 要求に関連する認証、認可、アクセス制御、およびプライバシー機能を提供します。

**ヒント**

Cisco Unified Serviceability で SNMP 設定を実行した場合は、[Control Center - Network Features] ウィンドウで SNMP Master Agent サービスを再起動する必要があります。

**MIB2 Agent**

このサービスは、RFC 1213 で定義されている変数への SNMP アクセスを提供し、システム、インターフェイス、および IP などの変数を読み書きします。

**Host Resources Agent**

このサービスは、ストレージリソース、プロセステーブル、デバイス情報、およびインストール済みソフトウェアベースなどのホスト情報への SNMP アクセスを提供します。また、HOST-RESOURCES-MIB を実装しています。

**Native Agent Adaptor**

このサービスはベンダー MIB をサポートします。このサービスを使用すると、SNMP 要求を、システムで動作する別の SNMP エージェントに転送できます。

**System Application Agent**

このサービスは、システムにインストールされ実行されているアプリケーションへの SNMP アクセスを提供します。また、SYSAPPL-MIB を実装しています。

**Cisco CDP Agent**

このサービスは、Cisco Discovery Protocol を使用して、Cisco Unified Communications Manager ノード上のネットワーク接続情報への SNMP アクセスを提供します。また、CISCO-CDP-MIB を実装しています。

**Cisco Syslog Agent**

このサービスは、各種の Cisco Unified Communications Manager コンポーネントによって生成される syslog メッセージの収集をサポートします。また、CISCO-SYSLOG-MIB を実装しています。

**注意**

SNMP サービスを停止すると、ネットワーク管理システムが Cisco Unified Communications Manager ネットワークをモニタしなくなるため、データが失われる場合があります。テクニカルサポートチームから指示を受けた場合を除き、このサービスは停止しないでください。

**Cisco Electronic Notification**

このサービスは、Cisco Unified オペレーティングシステムの管理ページと連携します。したがって、ソフトウェアアップデートに関する電子メールを送信できます。

**Cisco Certificate Expiry Monitor**

このサービスは、システムによって生成された証明書の期限切れ状況を定期的に確認し、有効期限が近づくと通知を送信します。このサービスを使用する証明書の管理は、Cisco Unified オペレーティングシステムの管理ページで行います。

### A Cisco DB Replicator

A Cisco DB Replicator サービスは、クラスタ内のファースト ノードと後続のノード間で、データベース設定およびデータの同期が確実に行われるようにします。

### Cisco License Manager

Cisco License Manager は、お客様が購入して使用している Cisco Unified Communications Manager 関連のライセンスを追跡します。このサービスは、ライセンスのチェックインとチェックアウトを制御し、Cisco Unified Communications Manager 関連のライセンスの発行と再要求を担当します。Cisco Unified Communications Manager の場合、Cisco License Manager は、Cisco Unified Communications Manager アプリケーションのほか、IP Phone ユニット ライセンスの数を管理します。電話機の台数がライセンス数を超えた場合、サービスはアラームを発行します。このサービスは、すべてのノードで動作しますが、ライセンスの発行と再要求は、ファースト ノードのサービスが担当します。

## DB Services

この項では、DB Services について説明します。

### Cisco Database Layer Monitor

Cisco Database Layer Monitor サービスは、データベース レイヤの各種機能をモニタします。このサービスは、変更通知とモニタリングを担当します。

## SOAP Services

この項では、SOAP Services について説明します。

### Cisco SOAP-Real-Time Service API

Cisco SOAP-Real-Time Service API を使用すると、デバイスおよび CTI アプリケーションに関するリアルタイムの情報を収集できます。また、このサービスは、サービスのアクティブ化、開始、および停止を行うための API も提供します。

### Cisco SOAP-Performance Monitoring API

Cisco SOAP-Performance Monitoring API サービスを使用すると、SOAP API を介して各種アプリケーションのパフォーマンス モニタリング カウンタを使用できます。たとえば、サービスごとのメモリ情報、CPU 使用率、およびパフォーマンス モニタリング カウンタなどをモニタできます。

### Cisco SOAP-Log Collection API

Cisco SOAP-Log Collection API サービスを使用すると、ログ ファイルを収集することや、リモート SFTP サーバ上のログ ファイルの収集をスケジュールすることができます。収集可能なログ ファイルの例には、syslog、コア ダンプ ファイル、および Cisco アプリケーション トレース ファイルなどがあります。

## CM Services

この項では、CM Services について説明します。

### Cisco CallManager Personal Directory

Cisco CallManager Personal Directory サービスは Cisco Personal Directory をサポートします。

### Cisco Extension Mobility Application

Cisco Extension Mobility Application サービスを使用すると、Cisco Extension Mobility 機能に関する電話機設定の期間制限などのログイン設定を定義できます。Cisco Extension Mobility 機能を使用すると、Cisco Unified Communications Manager クラスタ内のユーザは、クラスタ内の別の電話機にログインすることで、その別の電話機を一時的に自分専用のものとして設定できます。ユーザがログインすると、電話機には、ユーザの個人用電話番号、短縮ダイヤル、サービスリンク、およびその他のユーザ固有のプロパティが取り込まれます。ログアウトすると、電話機には元のユーザ プロファイルが取り込まれます。

### Cisco CallManager Cisco IP Phone Service

Cisco CallManager Cisco IP Phone Service は、Cisco Unified Communications Manager の管理ページで設定された Cisco Unified IP Phone サービス用のサービス URL を初期化します。

## CDR Services

この項では、CDR Services について説明します。

### Cisco CDR Repository Manager

このサービスは、ファースト ノードに存在するもので、Cisco CDR Agent サービスから取得された生成済みの CDR を保持および移動します。

### Cisco CDR Agent

Cisco CDR Agent サービスは、Cisco Unified Communications Manager によって生成された CDR ファイルおよび CMR ファイルを、ローカル ホストから CDR リポジトリ ノードに転送します。CDR リポジトリ ノードでは、CDR Repository Manager サービスが SFTP 接続上で動作しています。

このサービスを機能させるには、ファースト ノードで Cisco CallManager サービスをアクティブにし、サービスが動作していることを確認します。

## Admin Services

この項では、Admin Services について説明します。

### Cisco CallManager Admin

Cisco CallManager Admin サービスは、Cisco Unified Communications Manager の設定を行うための Web アプリケーションおよびインターフェイスである Cisco Unified Communications Manager の管理ページをサポートします。Cisco Unified Communications Manager をインストールすると、このサービスは自動的に開始し、GUI へのアクセスを可能にします。このサービスを停止すると、サーバをブラウズするときに Cisco Unified Communications Manager の管理ページの GUI にアクセスできなくなります。

## Service Activation

Cisco Unified Serviceability の [Service Activation] ウィンドウでは、複数の機能サービスをアクティブまたは非アクティブにすることや、アクティブにするデフォルト サービスを選択することができます。Cisco Unified Serviceability は、機能サービスを自動モードでアクティブにし、単一ノード設定に基づいてサービスの依存関係を確認します。特定の機能サービスをアクティブにするように選択すると、Cisco Unified Serviceability により、単一ノード設定に基づいて、そのサービスに依存して動作するサービスが他にあればすべて選択するように要求されます。[Set Default] ボタンをクリックすると、Cisco Unified Serviceability は、単一ノード設定に基づいて、Cisco Unified Communications Manager を実行するために必要なサービスを選択します。サービスは、アクティブになると自動的に開始します。サービスの開始と停止は、Control Center で行います。

## Control Center

Cisco Unified Serviceability の Control Center では、クラスタ内の特定のノードについて、サービスの状況を表示することや、サービスを1つずつ開始および停止することができます。Cisco Unified Serviceability には、これらのタスクを実行するための2つの [Control Center] ウィンドウが用意されています。ネットワーク サービスを開始、停止、および再起動するには、[Control Center - Network Services] ウィンドウにアクセスします。機能サービスを開始、停止、および再起動するには、[Control Center - Feature Services] ウィンドウにアクセスします。



### ヒント

[Control Center] ウィンドウと [Service Activation] ウィンドウに移動するには、[Related Links] ドロップダウンリスト ボックスと [Go] ボタンを使用します。

機能サービスを開始および停止すると、そのサービスに現在登録されている Cisco Unified IP Phone およびゲートウェイはすべて、そのセカンダリ サービスにフェールオーバーされます。そのセカンダリ サービスに登録できない場合にだけ、デバイスと電話機を再起動する必要があります。サービスを開始および停止すると、その Cisco Unified Communications Manager をホームとする他のインストール済みアプリケーション（会議ブリッジや Cisco Messaging Interface など）も同様に開始および停止する場合があります。



### 注意

サービスを停止すると、そのサービスが制御しているすべてのデバイスに対するコール処理も停止します。サービスを停止した場合、IP Phone から別の IP Phone へのコールは維持され、IP Phone から Media Gateway Control Protocol (MGCP) ゲートウェイに対して進行中のコールも維持されます。ただし、その他のタイプのコールはドロップされます。

## サービスの設定チェックリスト

表 9-1 は、サービスの操作手順を示しています。

表 9-1 サービスの設定チェックリスト

設定手順	手順と関連項目
<b>ステップ 1</b> 実行する機能サービスをアクティブにします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>機能サービス (P.9-2)</li> <li>機能サービスのアクティブ化と非アクティブ化 (P.11-1)</li> </ul>
<b>ステップ 2</b> 適切なサービス パラメータを設定します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>Cisco Unified Serviceability のサービスに関するサービス パラメータはすべて Cisco Unified Communications Manager の管理ページに表示されます。</li> <li>Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド</li> </ul>
<b>ステップ 3</b> 必要に応じて、Cisco Unified Serviceability トレース ツールを使用して、問題のトラブルシューティングを行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>トレースの設定 (P.7-1)</li> <li>Cisco Unified Communications Manager Real-Time Monitoring Tool アドミニストレーションガイド</li> </ul>

## 参考情報

### 関連項目

- Control Center (P.9-14)
- 機能サービス (P.9-2)
- ネットワーク サービス (P.9-8)

### その他のシスコのマニュアル

- Cisco Unified Communications Manager システム ガイド
- Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド
- Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド
- Cisco Unified Communications Manager セキュリティ ガイド
- Cisco Unified Communications Manager トラブルシューティングガイド

